

南摩羽峯 ハネカミ 漢學者。文政七年十一月二十五日陸奥國會津若松城下  
生れ、明治四十一年四月十二日歿（八三—一九九）。『漢綱記』、字十張、  
通稱二郎、ハ之丞。別號環碧樓、羽峯仙客、羽峯雜史。少時藩費の新  
館に學ぶ。弘化四年藩命により昌平坂學問所に入り、更ニ杉田成卿、  
石井密太郎等ノ就キ洋學を修めた。安政二年關西諸州を巡歴、文久一  
年蝦夷に渡る。慶應三年藩政の學職となるも、翌年命を以て國事に奔  
走。會津城陥落後、越後高田に禁錮。程なく許され、淀藩に聘せられ  
く藩學を督す。爾後京都府、大政官、文部省出仕を經て東京大學教授、  
高等師範學校教授を歴任。また、山村武樹等ト日本弘道會を組織して朝  
會長を務めた。

著書に、『内國史略』全四冊（明治五年八月彫版・十月序、羽峯書屋藏  
版）、『道遠錄』（内題「道遠日録」）各下野記行』（明治十八年八  
月文藝社）、『環碧樓遺稿』全五冊（明治四十五年二月十二日南摩編  
夫刊）、『論語講義』（細川潤次郎合著、行道學會事務所編、大正八  
年一月五日行道學會藏版、吉川弘文館）等。